

政令市初

災害時も暖かい食事を！

中学校の地域防災拠点（避難所）にLPガスボンベを常備しました！

1 災害対策LPガス常備事業の概要

横浜市は身近な地域の小中学校を、地域防災拠点（避難所）に指定しています。中学校の地域防災拠点には、炊き出し用物品として、LPガスを燃料とする「ガスかまどセット」を配備しています。

これらの中学校へは、震災時には災害時協定によりLPガスボンベを輸送することとなっていますが、一昨年（2011年）の東日本大震災の際には、本市においても道路渋滞が発生し、物資の輸送に困難を極めました。そこで、あらかじめ、拠点となっている都市ガス供給エリアにある中学校77校にLPガスボンベを常備しました。今回のLPガスボンベの常備に伴い、公益社団法人神奈川県LPガス協会と災害時協定を締結します。

2 災害時協定の締結について

横浜市危機管理監と公益社団法人神奈川県LPガス協会会長 古川 武法（ふるかわ たけのり）様と災害時協定を交します。取材を希望される方は、13時25分までに会場にお越しください。

(1) 日時

平成26年3月5日（水） 13時30分から13時45分まで

(2) 場所

横浜市庁舎5階 危機管理監室

(3) 協定の主な内容

ア 災害時出動業者を拠点ごとに複数、優先順位を付けてあらかじめ決めました。（1拠点3業者）

イ 災害時出動業者に拠点からの要請があれば、拠点の防災訓練への参加を義務付けました。

ウ 横浜市内で1区でも震度6弱が観測された場合は、48時間以内に緊急点検を行います。

3 LPガスボンベの本数

1拠点当たり50kgボンベを4本設置します。このうち2本は常に満タンの状態を確保しつつ、残りの2本については、平常時の利用を行います。

例えば、今回常備する50kgボンベ1本で、一人1食おにぎり2個、一日3食で6個を避難者1,000人に対し、5日間供給することができます。2本で10日間程度の炊飯が可能になります。

◎ LPガスボンベとガスかまどセットの接続状況（港北区新田中学校）



お問合せ先

総務局危機管理課 防災拠点・帰宅困難対策担当課長 池谷 充隆 Tel 045-671-4360